



四日市市自治会連合会

四自連だより

発行

H30年3月31日発行

【編集・発行】

四日市市自治会連合会

〒510-8601

四日市市諏訪町1-5

TEL 059-354-8287

e-mail:yonjiren@m6.cty-net.ne.jp

第19号



ごあいさつ

四日市市自治会連合会 会長 水谷 重信

日頃より、市内714自治会の皆さまより、自治会活動へのご理解、ご協力を賜り厚くお礼申し上げます。

昨年は、四日市市制施行120周年の記念すべき年であり、各地区でも120周年記念の事業が行われました。

- ・4つの地区が1つになって市民活動・市民協働を紹介するイベントを開催した地域。
- ・1人1人がハンカチに言葉を託して12,000枚のハンカチをつなげて、地域の絆を1つにした「夢ハンカチ～絆・ドリームリング」を行った地区。
- ・120枚の写真で郷土の姿を残す写真集を制作した地区等、特色を出しながら、それぞれが市制120周年を盛り上げてまいりました。

去る3月11日には、ケーブルNews 四日市市制120周年記念 特別番組「ええやん！四日市」で、市内全地区の特色や自慢のまちづくりを、紹介していただき、地域活動がわかる良い機会となりました。

まちづくりは、楽しみながらコミュニケーションを図ることができます。

地域における顔の見える関係づくりは、万一、災害が起きた時、ご近所同士でスムーズに助け合う意識が芽生えていきます。

四日市市自治会連合会では、“安全・安心に暮らせる豊かな四日市”に向けて、子育て環境の整備や、お年寄りが元気に暮らせるまちづくり、さらには、災害に強い暮らしの実現等、様々な活動を通して、地域コミュニティを充実し、地域力を高めて参りたいと思います。

若い世代から高齢の方まで自治会活動にご理解いただき、積極的に参加いただける環境づくりに努力いたしますので、今後ともよろしくご願いたします。

第19号のおもな内容

- 先進地視察研修 P2
- 市議会との意見交換会／郷土が誇る芸能大会／ヘルプマーク P3
- 情報交換会 P4-6
- 知事との懇談会 P6
- 四日市市政120周年 P7
- 水防マップ／北部ブロック駅伝大会 P8

先進地視察研修

平成29年11月15日に、愛知県名古屋市で、先進地視察研修いたしました。

名古屋大学にある減災館の見学や、愛知県庁見学、名古屋市役所では、平成39年のリニア開業に伴い、名古屋駅前周辺の開発状況を伺い、四日市市への影響を考える良い機会になりました。

1. 名古屋大学減災連携研究センター

- ・センター長 福和伸夫教授
「災害に強いまちづくり」について 講話
- ・減災館 見学

名古屋市千種区不老町 Tel 052-789-3468

2. 重要文化財 愛知県庁 見学

- ・災害情報センター 見学
- ・知事室 知事応接室 正庁 見学

名古屋市中区三の丸3-1-2 Tel 052-954-5357

3. 名古屋市役所

住宅都市局リニア関連開発部リニア・名駅開発推進課

名古屋市中区三の丸3-1-1 Tel 052-972-3982

- ・リニア中央新幹線の開業に向けた都心まちづくりについて研修



【名古屋大学減災連携研究センター・災害に強いまちづくり】

名古屋大学は、平成22年12月に減災連携センターを立ち上げ、「東海」「東南海」「南海」の3連動地震などによる巨大地震や近年多発している風水害に対して、産官学民の地域密着型の様々な連携によって、それらの被害を軽減していくための戦略について、研究・人材育成などを通じて構築していくことを目指す施設を見学しました。この施設は地域が身近に防災・減災を学べる場所として親しまれています。

今回は、センター長の福和教授に、災害に強いまちづくりについて説明を受けました。

【愛知県庁】

昭和天皇御大典の記念事業の1つとして、現在の場所に移転が決定し、昭和13年（1938年）3月に完成。

この頃は、戦争が拡大しつつある時で、国威発揚の波に乗り日本の伝統を建築にも反映させる風潮が高まっていて、当時の普通のオフィスの建物の頂部に城郭風の屋根を乗せた特異な意匠（帝冠様式）は、当時多く建設され、同じ様式の「軍人会館」の影響も強く受けたそうです。

完成していた隣接の名古屋市役所本庁舎との調和も配慮された設計が考えられ、平成26年には、名古屋市役所本庁舎とともに国の重要文化財に指定されました。

現役のメイン庁舎として使用されている重要文化財の例はなく、全国初のケース。

【災害情報センター】

愛知県庁内に災害発生時には、県内各所の被害の情報収集、市町村との連絡等を行う「災害情報センター」の見学。



【名古屋市役所 住宅都市局リニア関連開発部リニア・名駅周辺開発推進課】

《リニア中央中央新幹線の開業に向けた都心まちづくり》

平成39年のリニア中央新幹線開業による名古屋へのリニア乗り入れは、名古屋から30分に位置する四日市にとっても、名古屋駅での乗り継ぎによる首都圏との飛躍的なアクセス短縮とともに、名駅周辺の都市開発がどのように進められるかは、四日市の都市づくりにも大きく影響すると思われます。

名古屋市の将来構想や現在の取り組み状況を伺い、四日市の将来を考える機会となりました。



四日市市議会と四日市市自治会連合会との意見交換会の開催

平成29年12月15日四日市市議会と四日市市自治会連合会との意見交換会を開催いたしました。

テーマは、・地域社会のきずなづくり・防災対策について

自治会側は、地域活動の紹介やこれからの課題として、高齢化する中で、若い世代や女性のリーダーの育成を上げました。

市議会からは、議員政策研究会 防災対策分科会の「四日市の防災力を高める7つの方策」について、四日市の防災力を高めるための方策の紹介があり、防災についての現状を意見交換しました。



第7回 郷土が誇る芸能大会



1月14日に「郷土が誇る芸能大会」が四日市市文化会館で開催されました。

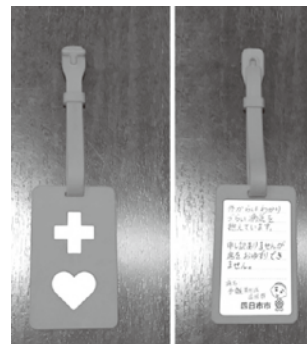
四日市市が開催したこの催しは、7回目を迎え、連合自治会から推薦された12地区が一堂を会し、地域で大切に受け継いできた伝統芸能や趣向を凝らした芸能を演じあい、四日市の芸能の祭典が行われました。

「ヘルプマークって知っていますか？」

ヘルプマークは赤字に白の十字マークとハートを印字したデザインで、義足を使用している人、難病の人、妊娠初期の人など、外見から分からなくても援助や配慮を必要とする人が、周囲に必要と知らせることで、援助を得やすくなるよう作成されたマークで、平成24年に東京都が作成し、2月から県もヘルプカードの配布を始めるなど、導入が広がっています。四日市市でも、ストラップの配布をはじめています。

先ごろ県から「ヘルプマーク・アンバサダー（普及大使）」の委嘱を受けた小崎麻莉絵さんは市内に在住し、啓発、推進されています。

ヘルプマークのお問い合わせ 市役所障害福祉課（本庁舎3階）、市保健所保健予防課（総合会館4階）



医療法人 尚豊会 みたき総合病院

標榜診療科目 内科、消化器内科、神経内科、循環器内科、人工透析内科、糖尿病内科、肝臓内科、緩和ケア内科、産婦人科、外科、血管外科、乳腺外科、耳鼻咽喉科、整形外科、リウマチ科、泌尿器科、脳神経外科、リハビリテーション科、麻酔科

診療時間 午前／9時00分～正午 午後／4時00分～6時00分

休診日 水曜日午後、土曜日午後、日曜日、祝日

住所 〒512-0911 四日市市生桑町菰池458番地1

電話 (059) 330-6000

URL <http://mitakihp.jp/>

三重交通グループ **バス運転士募集**

これから地域の皆さまに安全と安心、最高のサービスを提供するために...

Recruitment of bus drivers

三重交通ではバス運転士を募集しています。
詳細は下記までお問い合わせ下さい。

三重交通株式会社

人事部 運転士採用係 0120-351-179 (平日 9:00～17:00)

情報交換会

2月27日（火）情報交換会が開催されました。

この会議は、市内全地区の連合自治会から代表者数名と地区市民センター館長が参加し、今回は「各地区の活動主体について」「地域と行政のあるべき姿について」アンケート調査を行い、楠地区、神前地区の事例発表と、アンケートの結果、まちづくり協議会が主体で活動する地区が6割を占めていることがわかりました。

地域と行政のあるべき姿では、地域マネージャーのあり方について意見交換が行われました。

楠地区社会づくり推進協議会について

事例発表1

発表者：楠地区連合自治会会長 中村 克義

楠地区は平成17年度まで楠町として独立しており、その後四日市市と合併し、12年経過しました。

楠町時代、31の単位自治会がありました。連合自治会はなく、自治会ごとの調整などは楠町がやってくれていました。

また、運動会や文化祭人権問題等も楠町が調整し、子育てを支援するボランティア団体や高齢者や障がい者を支援するボランティア団体も数多くありましたが、これも自治会と同様、楠町が調整をしてくれておりました。



しかし、合併するとこうした活動などは地域が自主的に取り組むよう、四日市市から指導され、自治会は連合自治会を組織し、楠町がやっていた運動会や文化祭は住民主体で実施するようになり、そしてボランティア団体を包括するような形で地区社会福祉協議会を立ち上げました。

また、人権問題については新たに人権教育推進協議会の立ち上げや、「社会づくり推進協議会」の前身となる「まちづくり協議会」を立ち上げました。



この「まちづくり協議会」では、合併後のまちづくりの指針となる「まちづくり構想」を協議、検討し、平成22年4月に四日市市に提案をいたしました。

そして、合併後10年がたち、経過措置がなくなり、総合支所からセンターになるのをきっかけに、住民によるまちづくりをさらに、進める必要にせまられました。

そこで昨年1月、これまでの「まちづくり協議会」を「まちづくり検討委員会」に改め、自主防災協議会「民生委員・児童委員協議会」を加え、6つの団体で構成する「楠地区社会づくり推進協議会」を設立いたしました。

「社会づくり推進協議会」の構成

- ・連合自治会
- ・自主防災協議会
- ・人権教育推進協議会
- ・民生委員・児童委員協議会
- ・地区社会福祉協議会
- ・まちづくり検討委員会

～協議会の役割～

- ①構成団体の意見調整等
- ②地区の諸課題に関する検討
- ③まちづくり構想等の進捗管理
- ④地区の合意形成

- 【課題】
- (1) ボランティア人材の高齢化と減少・・・団体の運営が困難に。
 - (2) 地区住民の少子高齢化・・・子供の減少・高齢化・地区人口の減少
 - (3) 地区と行政の役割・・・地区＝まちづくり構想に沿って活動推進
行政＝地域地区別構想が進んでいない } 温度差

こうした課題を解決するため、これからは三つの点を強く意識しながら進めていきたいと考えています。

1つ目は★活動団体のさらなる連携強化

地区で行う事業の効率化を図るため「社会づくり推進協議会」が中心となって各種事業の見直しを図る必要があります。

地域の方の健康増進ならびに
高齢者福祉に貢献します。

独立行政法人 地域医療機能推進機構
四日市羽津医療センター
(旧 四日市社会保険病院)
四日市市羽津山町10番8号 TEL 059-331-2000

東海地区最大級 源泉かけ流しの大露天風呂
四拍子揃った50℃の天然温泉
手ぶらでOK! 一日ゆっくりお過ごし頂けます
連日公演の大衆演劇、ボディケア、仮眠室完備

ここからでも ぽっかぽか
ユユカイカン
50℃の天然温泉
☎059-326-1010

2つ目に★活動内容の周知

こども園の保護者説明会でのアンケートで「地域の方々が、こんなに子どもたちのことを考えてくれているのが分かって感謝しています」とのコメントをいただきました。

こうした保護者を対象に地域活動をPRし、保護者を取り込んでいけば、後継者の発掘を含めこれからのまちづくりにつながると確信しています。

最後に★行政との話し合い

「まちづくり構想」の実現や、「災害時の保障」などは、行政が行なうことであります。

これについては地区が行政と話し合いを重ねるのはもちろんですが、同じような課題を抱える地区が協働で行政と話し合う必要があります。

「四自連」とともに「四日市市」と協議を進めていきたいと思っています。

神前地区のまちづくり活動

事例発表2

発表者：神前地区連合自治会会長 佐藤 房雄

神前地区は、連合自治会を中心にまちづくりを進めています。

四日市市の中央にあたる地区で、人口は約6,700名で、田、畑、里山等、緑に恵まれ、人にやさしいまちであります。

施設は、イオン尾平店・中消防署中央分署・介護総合センターかんだき・四日市商業高等学校・四日市中央工業高校があり、生活するには、とても便利な地域です。

建設工事ラッシュで、国道477号線4車線拡幅工事、北勢バイパス建設工事、四日市市総合防災拠点整備工事を行っています。

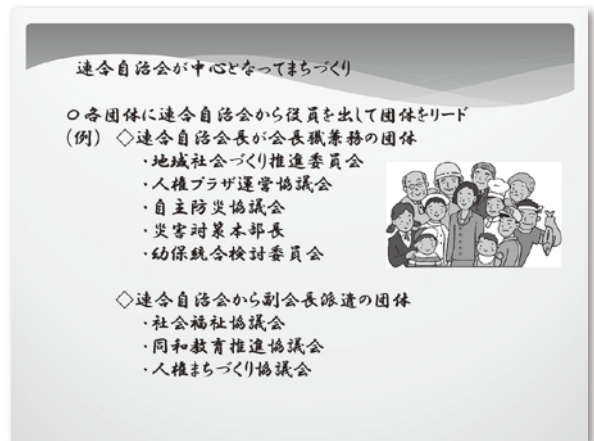
神前地区には、10町の自治会があって、連合自治会を組織しています。

まちづくり活動は、連合自治会が中心となってまちづくりを行っています。各団体に連合自治会から役員を出して団体をリードしています。

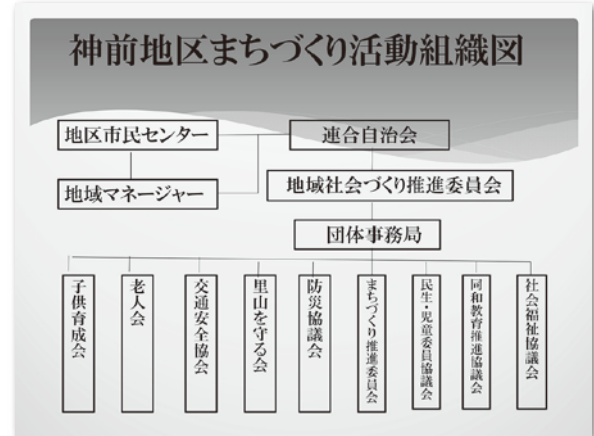
連合自治会長が会長職を兼務している団体は地域社会づくり推進委員会・人権プラザ運営協議会・自主防災協議会・災害対策本部長・幼保統合検討委員会などがあります。また、連合自治会から副会長を派遣している団体は、社会福祉協議会・同和教育推進委員会・人権まちづくり協議会があります。

どの団体にも、自治会長が在籍し、調整しています。

10町からなる連合自治会は、四日市市のなかでも小さい組織ですが、その分まとまりもあり、自治会長は地区の人たちから頼りにされています。



連合会長、自治会長がまちづくりの中心となる団体の中枢に入り、連合自治会がリードしてまちづくりを進めています。



北勢地域若者サポートステーション

就職におけたサポートをしています!!

- 対象 / 15才~39才までの無業状態にある方、ご家族・関係者も利用できます
- 相談日 / 火曜日~土曜日
- 開所時間 / 9:30~18:00
- お問い合わせ・お申し込み / TEL 059-359-7280 又は7281
- 住所 / 三重県四日市市諏訪栄町3-4 星座ビル2F
- E-mail / wakamono@hokusapo.com
- ホームページ / http://hokusapo.com
- 定休日 / 日・月・祝日、年末年始
- 運営団体 / NPO法人市民社会研究所

北勢地域で創業90年

ご要望に丁寧にお応えします。

ATKE 阿竹印刷工業株式会社

〒510-8016 四日市市富州原町14-24
TEL 059-365-3125

神前地区まちづくりの課題

1. 連合自治会の力が強すぎ、各団体の自立運営がなかなか進まない。
 - ・各団体の委員選出は、各団体だけで選出できず、連合自治会・単一自治会長頼み。
 - ・運動会・人権フェスタかんざき・文化祭などの行事参加者・人集めは連合自治会・単一自治会長頼み。
2. 自治会長・各団体のリーダー後継者のなり手が少ない。
3. 女性リーダーがなかなか育たない。
 - ・女性自治会長 ⇒ 1人(1町/10町)
4. 神前地区では、連合自治会長・自治会長がまちづくりのトップという住民意識が強く、各団体への権限移譲がなかなか進まない。

目指すべき神前地区まちづくり

○連合自治会主体から
⇒ 地域社会づくり推進委員会
徐々に意識改革を行って進めていきます。



三重県自治会連合会 知事懇談会

平成30年1月29日津市で、知事懇談会が開催されました。

県内13支部の役員があつまり、地域の課題を知事と意見交換しました。

四日市市は、今年開かれる全国高等学校総合体育大会や、2021年に開かれる三重とこわか国体に向けて、スポーツに励む青少年のスポーツ環境の充実をはかるために、中学の部活動指導員の配置や県内の競技場の整備について、水谷会長から知事に発言しました。

知事からは、今年の高校総体に8つの市町15競技が開催される予定。部活動指導員についても、ガイドライン策定委員会をつくり、市には中学校対象に、県は中学、高校を対象に補助をつけて、外部のコーチによる技術面での指導を充実させた上で、教員の負担軽減することにもつながると意見交換しました。

また、サッカーではJリーグの基準にあった(J規格)競技場の整備について議論する場を作っていきたいということでした。

懇談の内容は

- ①南海トラフ巨大地震防災対策について(志摩市)
- ②河川の洪水対策について(伊勢市)
- ③住民の生活環境に影響を及ぼす施設の建設に伴う住民説明を実施するルール作りについて(紀北町)
- ④三重県の青少年スポーツ振興について(四日市市)



大切なあなたの大切な一日のはじまりに



みえの朝ごはん

Breakfast at PLATON HOTEL

TEL.059-352-0300
四日市市西新地 7-3



文部科学省「COC事業」採択 地(知)の拠点 地域とともに推進中

2014年度、四日市大学は文部科学省が支援する「地(知)の拠点整備事業(COC事業)」に、採択されました。産業と環境の調和をめざす四日市に拠点を置く大学として、地域の抱える「産業振興」「環境」「人材育成」のニーズに応え、活力ある地域づくりに貢献します。

学校法人 曉学園
YOKKAICHI UNIVERSITY
四日市大学

COC事業専用サイト
<http://coc.yokkaichi-u.ac.jp/>
学生情報局サイト
<http://coc.yokkaichi-u.ac.jp/gakusei/>

[担当窓口] 社会連携センター TEL 059-340-1927

四日市市制120周年

ケーブルNews 特別番組 「ええやん!四日市～市民が主役～」

3月11日11時から3時間半の長時間の番組「ええやん!四日市」が放送されました。

各地区市民センターや連合自治会へのアンケートをもとに特色ある地域活動を、市内全地区紹介されました。“まちづくり”をキーワードに、真剣に地域活動に取り組んでいることを感じました。まさに「ええやん!四日市～市民が主役～」の番組でした。



日 永	梅の香これからも 日永梅林 保全から20年	常 磐	本当に役立つ「防災」を 避難所運営訓練
桜	桜のきらめく誇り 智積養水	塩 浜	災害に強いまちづくり かまどベンチ
小山田	地域のシンボル おやまだ桜を守る	県	女性から防災を発信 女性防災クローバー
海 蔵	住民の力で作る 地域が誇る春のトンネル	川 島	つながる住民 紡ぐ絆 おしゃべり女子会
大矢知	くるべ古代歴史館 3月25日にオープン	内 部	地域の今を未来につなぐ 婦人会
保 々	地域で続く伝統 殖栗神社・市場町獅子舞	八 郷	つないで見えた 地域の絆
神 前	100年続く音色 雅楽 鳳鳴社	橋 北	子育ての拠点オープンから1年 橋北交流会館
富 田	まちづくりに若者が参画 中学生が語る富田の未来	中部*	県下で最も歴史の長い 中部西小学校
富洲原	空き家の可能性を探る 富洲原 空き家部会	河原田	住民の力で復活 忘帰處
羽 津	市民の交通手段を守る 生活バスよっかいち	楠	合併して13年 楠の今
四 郷	多様な文化が集うまち 多文化共生地域	三 重	支え合い助け合う ライフサポート三重西
水 沢	ガーベラ流 地域防災の形	下 野	就園前子育て支援 めだかぐみ

*=共同・同和・中央・浜田・港

真心でおくる「市営式場の家族葬」も年中無休24時間受付中

株式会社 ふゆや本店

光倫会館

☎0120-114248

【本社】四日市市松本町北大谷2015 北大谷斎場口
TEL:059-351-1151(代) FAX:059-351-4224

水防マップの見直しが検討されています

1月31日、2月27日の2回、「水防法等改正による四日市市防災マップ作成ワーキンググループ会議」が開催されました。

平成27年に水防法等が改正され、国・県管理河川について、想定最大規模の降雨などに対応した浸水想定や浸水継続時間等（ハザード）が公表されており、今後も公表が予定されています。市が今まで作成してきた「防災マップ」を命を守る避難行動に結びつくハザードマップに作り変えるための検討を、学識経験者を含めたワーキンググループを結成し検討しました。

ワーキンググループ構成員

東京大学 片田教授、三重大学 川口准教授、四日市市自治会連合会、四日市市地区防災組織連絡協議会、四日市市消防団、四日市市社会福祉協議会、四日市市民生委員児童委員協議会連合会、障害者団体、社会福祉士、四日市市PTA連絡協議会、三重河川国道事務所、三重県 四日市建設事務所、四日市市

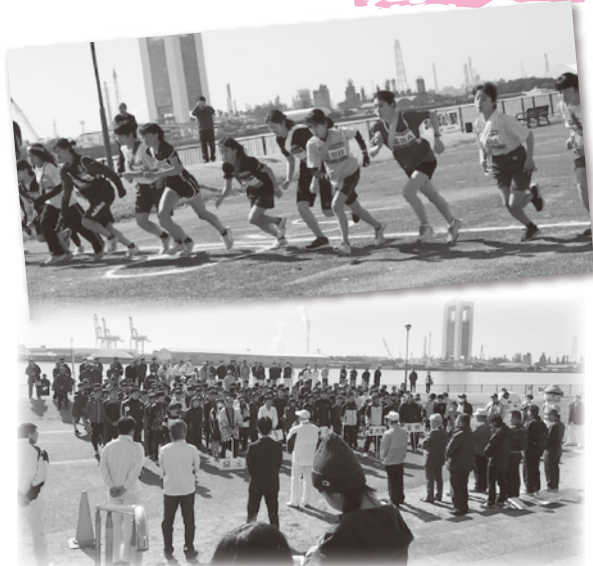
今後の予定として

平成30年度は、既に浸水想定区域が公表されている鈴鹿川水系のワークショップを実施してハザードマップを作成し、平成31年度以降は、浸水想定区域が公表されているおよび今後公表される三重県管理河川水系のワークショップを順次実施し、ハザードマップを作成していきます。



会議の様子

四日市市北部ブロック 第33回 駅伝大会 開催



3月11日に富田の富双緑地で行われた「北部ブロック 駅伝大会」は、富田・富洲原・大矢知・八郷・下野・保々の北部ブロック6地区 14チームが参加し、小学生から大人までタスキをつなぎ、競い合いました。

この大会は、33年目を迎えており、保々から八風街道を走ったのが始まりだそうです。

北部の6地区が協力し合い開催する珍しい事業です。総合入賞は次の6チームです

- | | | |
|---------|---------|--------|
| 1位 富田A | 2位 富洲原A | 3位 保々B |
| 4位 大矢知B | 5位 下野A | 6位 八郷A |

《編集後記》

市内の、地域活動や四自連の事業等を紹介し、みなさんにご理解、ご協力いただくために発信しております。

四日市市自治会連合会事務局 〒510-8601 四日市市諏訪町1-5
TEL・FAX 059-354-8287